

- ・委員の委嘱
 - ・授業参観
 - ・会長及び副会長の選出
- (1) 会長挨拶
- 本日は、皆さんに御協力いただき、学校のよりよい取組みに向けて活発な意見交流をお願いしたい。
- (2) 学校運営協議会の設置及び運営について
- (3) 令和5年度飛驒特別支援学校運営、方針等について
- ・令和5年度の運営等
 - ・令和5年度の学校経営計画及び組織編制
 - ・令和5年度教育課程及び年間行事予定
 - ・本校高等部生徒の心得
 - ・令和5年度本校の働き方改革
- 委員全員の承認を得た。
- (4) 飛驒特別支援学校取組みの重点について 令和4年度の実績と令和5年度の計画
- ・学校より説明

・意見交流

意見 1 : 新子どもかがやきプランの高等特別支援学校機能の整備はいつ頃になるか。
⇒未定。まずはニーズを把握する段階である。

意見 2 : 高等特別支援学校の対象者と教育課程について教えていただきたい。
⇒一般就労を目指すということは、自分で公共交通機関等を利用して移動ができることや身辺自立等が必要になってくると思われる。教育課程も就労に関わる内容が増えることが考えられる。

意見 3 : 一番協力できそうなところが防災のマンパワーだが、学校周辺地域にマンパワーがない。1 人でも多く地域に周知して協力していただけるようにしていきたい。
まち協主催の芸能祭はコロナ禍ではデジタルで参加していただいた。今後は実際にふれあえるとよい。

意見 4 : まち協では、毎年数人が防災士の資格を取るよう力を入れている。防災については終わりがなくて、少しずつ進歩していきたい。
人生は卒業後の方が長い。キャリア教育に協力していきたい。作業製品の販売や冊子での紹介等をしていきたい。

意見 5 : 児童生徒に寄り添っていただいていることが分かりありがたい。授業参観で、教職員との信頼関係ができ、課題に集中して取り組んでいることが分かった。高等部の生徒との会話から、考えを知ることができてよかった。
教職員も元気でいてもらいたい働き方について、状況はどうか。
⇒4 5 時間超えになることもあるが、続かないよう声を掛け合っている。
若い職員は経験が少なく、行事の検討には時間がかかっている。教員以外の職員と仕事の分担をしている。

意見 6 : 進路について事業主へのアプローチとともに市役所で働く仕事はないか検討するとよい。

意見 7 : 成人施設に空きがない。生活介護の受け入れ先がないことについては、市の協力も必要。

意見 8 : 福祉センターの展示スペースを活用してほしい。
こころと時間にゆとりのある働き方について、時間短縮だけではなく効率よく仕事をするを心がけるとよい。

意見 9 : 生徒の心得の四ない運動は、過去に何か理由があって取り組んでいるのか。
⇒高等学校と同じルールにしている

意見 10 : 防災に関して福祉避難所の開設や支援の情報共有ができるよう、要支援台帳の登録をするとよい。
本庁・支所での写真展が学校周知につながっていくとよい。

意見 11 : 実習など、本人が本当にその事業所を希望しているのか気になる。まずは見学をして、本人の意思を大切にしていけるとよい。
20 歳を過ぎると障害者年金の申請に苦労する。今から準備しておくとうい。

意見 12 : 昨年度分校で、地域の避難所を保護者が見学し、いろいろな意見を伝えた。
障がい者に優しい避難所は、全ての人に優しい避難所となる。
分校の重点で「非常変災時」としているのは、気象災害のみではなく幅広く非常時に対応できることを目指しているのか。
⇒不審者対応にも取り組んでいる。

意見 13 : 保護者に対するキャリア教育も大切。卒業後の進路決定はゴールではなくスタートであるため、保護者が学校での支援を理解して対応できることが大切。
保護者の不安軽減のため、卒業後のサポート体制や社会資源の情報提供をしていくとよい。

(5) 本校高等部作業製品の価格審査会

委員全員の承認を得た。

意見 1 : 試作をするための予算を見込んだ価格設定をすると良い。

意見 2 : 製品販売会のチラシを回覧する地域を増やすとよい。

意見 3 : 3, 500 円のバッグは高価なので、織の布だけでなく市販の布と組み合わせ
て価格を抑えるとよい。

(6) 副会長挨拶

働き方改革は、労働時間のみに目を向けるのではなく、働き甲斐やモチベーションも大切である。教員に生徒の良い姿を伝えるなど、教育の成果を感じられることが大切である。
年 3 回の会議だが、それぞれ必要に応じて支援を行っていかるとよい。

6 会議のまとめ

- ・学校の運営方針について、委員全員の承認が得られた。
- ・高等部作業製品の価格について、委員全員の承認が得られた。
- ・作業製品の紹介で学校周知への協力や、まち協から防災の取組への協力の申し出が得られた。
- ・教職員の働き方改革の必要性の理解が得られた。
- ・進路教育に関して、生徒が自己決定していくことと保護者の進路指導に対する理解を促していきたい。
- ・児童生徒が実際に地域の人々と活動を共にし、地域社会の理解を深めていく場を作っていきたい。
- ・地域の方々とともに防災について考え、活動する場を作っていきたい。